ハッピースマイルお泊り～みんなファーストな二日間～

3月18日（土）　～　3月19日（日）

IN　うつぐみの郷

	午前	午後	夜
１日目	施設まで移動	うつぐみ DIY	星空観察・まったりタイム
２日目	清掃・野外炊飯	施設を出発・解散	

一日目：　おはようございます！少し雲行きが怪しい中ですが、元気にハピスマのお泊りが始まりました！それぞれの集合場所から西宮北口駅に集まってくるころにはに雨が上がり、“うつぐみの郷”へ向かう道中には晴れ間も見えてきました。バスの車内では、うつぐみの郷で行う作業の優先度を皆で決めました。今年のうつぐみの郷での作業は、やり残していたかまど作りに加え、様々な作業を行う予定です。施設到着後すぐに昼食を済ませ、活動に取り掛かりました。まずは、作業ごとの担当分けから始めました。初めはやりたいことを一人一人が主張してばかりでしたが、学年ごとのバランスを見たり、経験したことがある人との人数比を見たりと、周りを見ながら話を進めることが出来るようになっていきました。話し合いがまとまり、作業服に着替えたらそれぞれの担当ごとに分かれて作業を開始しました。それぞれの作業場では、経験のある人が初めての人へ教えながら作業が進められていました。今年度の活動で培ってきた経験から、皆が自然とその様な行動を取れているのだと感じました。また、作業が終わった人や、手が空いた人が、自然と手が足りていない場所へ手助けをしに行く様子も見られました。夕飯までの時間ぎりぎりまで作業に取り掛かりましたが、残した作業は明日へ持ち越しとしました。夕飯のメニューは、“お鍋”です。寸胴鍋いっぱいの鍋に大盛り上がりをしながら何度もおかわりをし、お腹いっぱいになるまで皆で夕飯を楽しみました。夕飯の後は、少しまったりしながら過ごしました。順番にお風呂を済ませ、夜が更け切った頃に夜空を見上げに外に出ました。夜空には、満点の星空が広がっていました。肉眼ではっきり見える星空に皆も必死に見上げながら「あれは、オリオン座かな？」、「北斗七星かな？」、「冬のベルトが…。」と、皆で星を確認しながら夜の時間を過ごしました。体が冷え切る前に施設に戻り、就寝準備を進めます。疲れからか消灯後すぐに寝息が聞こえてきました。

二日目：　今日はとても良いお天気です。まだまだ冷え込む朝ですが、布団の片付けに朝ごはん作りと慌ただしく動いていきます。朝ごはんは、キャンプ恒例の“パックドック”です。作り方を知っているメンバーが初めて作るメンバーに教えていきます。リーダーからの声掛けがなくても自然と助けあっているメンバーの姿を見ることが出来ました。少しゆっくりとした朝を過ごし、昨日やり残した作業の続きを進めていきます。昨日はたどたどしく作業をしていたメンバーも手慣れたように作業を進めておられました。今日の昼食は、みんなで手分けをして作ります。メニューは“お好み焼き”です。キャベツをたくさん切り、粉を混ぜてかまどで焼きました。少し焦げたお好み焼きもありましたが、上手に焼くことが出来ました。たくさん焼いたお好み焼きもみんなで平らげました。最後の活動は【施設の清掃】を行いました。場所ごとに担当を決め、責任を持ち、清掃を行いました。二日間はあっという間です。出発の時間には、「もっといたかったなぁ。」と名残惜しく施設を見上げておられました。最後に集合写真を撮り、バスに乗って兵庫へ帰ります。「また、来年も活動を楽しんでいこうね。」と約束をし、宝塚で全体解散をし、それぞれの解散場所へ向かいました。

＜キャンプ総括＞

ハッピースマイルお泊りへご参加いただき誠にありがとうございました。昨年度に続き、お泊まりではグループを編成せず、メンバーと一緒に活動を進めていきました。他の定例活動に比べてメンバー同士の仲が良く、一人一人が名前を覚え合っていることは、ハピスマの強みであると感じています。「友達同士にならないように座って。」と声をかけると、「どこに座っても友達がおるから座られへん。」と悩むメンバーもおられました。活動で会うだけの存在ではなく、友達として認識をしておられる姿に微笑ましく、嬉しく思いました。活動においての醍醐味は、人と人の輪を広げることにあると思います。活動でしか出会えない友達がいます。もしかしたら、定例活動を卒業された後はもう会うことがなくなってしまうかもしれません。だからこそ、活動の時間を大切に過ごして欲しいと思います。　（橋本　里佳）